
日本基礎老化研究会

第 3 回 大 会

会 期 昭和 54 年 7 月 20 日(金), 21 日(土)

会 場 東京都養育院講堂
東京都板橋区栄町35-2

世話人 太 田 邦 夫
東京都老人総合研究所
〒173 東京都板橋区栄町35-2
電話 (03) 964-1131 内線 3001
(連絡に関しては 内線 3060)

参 会 の 皆 様 へ

1. 受付では参加費 1,000 円をお支払いのうえ、参加証をうけとり、所属とお名前をご記入下さい。
2. 第 1 日午後 5 時半より、大会会場にて日本基礎老化研究会総会を行います。
3. 第 1 日午後 7 時より、孔雀苑にて懇親会を行います。参加ご希望の方は受付で会費 1,500 円をお支払い下さい。
4. 一般講演の講演時間は15分です(なお、討論時間は別に用意されます)。
5. スライド・プロジェクターは 1 台です。スライド (35mm サイズのみ) はお早めにスライド受付へお渡し下さい。
6. 会場入口に用意しました飲物は、ご自由におのみ下さい。
7. 昼食には、大山駅附近にある食堂を御利用下さい (8 頁の地図参照)。

日本基礎老化研究会第3回大会プログラム

第1日 7月20日(金)

10:00～10:05 世話人あいさつ 太田邦夫(都老研)

《一般講演》

10:05～12:00 座長 鈴木撃之(東海大・医・分子生物)

A-1. 生存曲線からみた線虫 *Caenorhabditis elegans* の老化過程

- 細野隆次(金沢大・医・生化), 佐藤佳子,
相沢慎一(都老研・栄養), 三井洋司(都老研・薬理)

A-2. 加齢による蚕蛾アミノ酸プールの変化

- 小山内実(都老研・生物), 菊田純子(岡山中央病院)

A-3. クロショウジョウバエの寿命における系統間変異と環境要因

- 大羽滋(都立大・理・生物)

A-4. 生態的条件(性比, 密度)のショウジョウバエ寿命に及ぼす影響

- 相垣敏郎, 大羽滋(都立大・理・生物)

A-5. クロショウジョウバエにおける産卵数および孵化率の加齢にともなう変化

- 山本明彦, 大羽滋(都立大・理・生物)

12:00～13:00 昼食

《特別講演》

13:00～13:50 司会 吉田俊秀(遺伝研・細胞遺伝)

特-I. 哺乳動物卵の Microsurgery による新しい実験動物の作出

- 大沢仲昭(東大・医・内科)

13:50～14:00 休憩

《 一 般 講 演 》

14:00～15:00 座 長 鶴 藤 丞（東北大・薬・生化）

B-1. 雄マウスの血中アンドロジェン値および行動の加齢変化

◦米沢由美子（都老研・生物），町田武生（鹿児島大・理・生物），小山内 実，能村哲郎（都老研・生物）

B-2. 加齢に伴う軟骨プロテオコンドロイチン硫酸の低硫酸化機構について

◦本多 厚（東薬大・生化），安部みどり，室田誠逸（都老研・薬理），森 陽（東薬大・生化）

B-3. 老年者の脂質代謝に関する研究．血清リポ蛋白画分脂質値から見た老年女性と中年女性の差異について

◦中島信治，中野祥子（日医大・老研・生化），見須 宏（下谷保健所）

15:00～15:15 休 憩

15:15～17:15 座 長 山 科 郁 男（京大・薬・生物化学）

C-1. ヒト2倍体細胞の加齢と表面変化；レクチンによる違い

◦相沢慎一，栗本文子（都老研・栄養）

C-2. ヒト2倍体細胞の加齢と表面変化；由来組織による違い（II）

◦栗本文子，相沢慎一（都老研・栄養），三井洋司（都老研・薬理）

C-3. 細胞表面ムコ多糖のヒト2倍体線維芽細胞における加齢変化

◦松岡耕二，三井洋司（都老研・薬理）

C-4. 培養細胞の老化と膜糖脂質

◦大沢多加子，永井克孝（都老研・生化）

C-5. 赤血球膜の θ -Toxin感受性；個体老化のパラメーターとしての可能性

◦永井克孝，安藤 進，田中康一（都老研・生化・中央機器），長谷純一（富山医薬大・薬）

17:15～17:30 休 憩

17:30～18:30 研 究 会 総 会

19:00～20:30 懇 親 会

（会場：孔雀苑）

第 2 日 7 月 2 1 日 (土)

《 一 般 講 演 》

9:00～12:00 座 長

二階堂 修 (京大・放生研)

山田正篤 (東大・薬・生理化学)

- D-1. ヒト 2 倍体細胞における老化機構の解析；無血清培地培養における細胞増殖因子の反応性について
◦星 宏良, 菅 幹雄, 山根 續 (東北大・抗研・細胞生物)
- D-2. EGF および FGF を投与されたヒト胎児線維芽細胞 (TIG-1) の細胞加齢
◦加治和彦, 松尾光芳 (都老研・アイソトープ)
- D-3. ヒト肺線維芽細胞の増殖に対する血小板増殖因子の効果
大野忠夫 (放医研・薬学)
- D-4. ヒト 2 倍体細胞 (TIG-1) の *in vitro aging* に伴うプロスタグランジン合成酵素活性の質的変動
◦室田誠逸, 三井洋司, 川村美枝子 (都老研・薬理)
- D-5. ヒト胎児肺線維芽細胞の細胞凍結；加齢と増殖の影響
◦近藤 晃, 山本清高 (都老研・生物)
- D-6. キンギョ由来培養細胞は“老化”するか？
◦嶋 昭紘 (滋賀医大・放基), 二階堂 修 (京大・放生研),
篠原茂生 (滋賀医大・放基), 江上信雄 (東大・理・動物)
- D-7. 培養されたヒト由来細胞における細胞寿命の不均一性
◦伴 貞幸, 菅原 努 (京大・医・放基)
- D-8. ニワトリ胚線維芽細胞の細胞加齢に伴う倍数体細胞の蓄積
◦松尾光芳, 加治和彦 (都老研・アイソトープ)
- D-9. 発生と加齢に伴う, マウス脳抽出液の培養癌細胞に対する増殖抑制効果の変動
◦遠藤由美子, 武田俊平, 松沢大樹 (東北大・抗研・放医)

12:00～13:00 昼 食

《 特 別 講 演 》

13:00～13:50 司 会 岸 本 進 (熊本大・医・内科)

特一Ⅱ. 加齢と免疫

佐 渡 敏 彦 (放医研・生理病理)

13:50～14:00 休 憩

《 一 般 講 演 》

14:00～15:20 座 長 堀 川 正 克 (金沢大・薬・放射薬品)

E-1. ウェルナー症候群の免疫学的側面 (続報)

後 藤 真 (東大・医・物療内科)

E-2. 老化機構研究へのアプローチとしての遺伝的早老症の研究と意義

。藤原美定, 加納良男, 巽 真理子 (神戸大・医・放基)

E-3. ヒストンH1の減少を伴うヒト細胞の加齢

。三井洋司, 坂上 宏, 室田誠逸 (都老研・薬理),
山田正篤 (東大・薬・生理化学)

E-4. 加齢によるラット肝H1ヒストン小分画ならびにクロマチン構造の変化

新藤恵子, 森川明信, 大場義樹 (金沢大・薬・生物薬品)

15:20～15:35 休 憩

15:35～18:15 座 長 藤 田 哲 也 (京府医大・病理)

松 沢 大 樹 (東北大・抗研・放医)

F-1. 老若パラビオーゼ白鼠肝細胞のミトコンドリア

。佐藤秩子 (愛知がんセンター・臨床検査),
田内 久 (愛知医大・病理)

F-2. 腸内細菌叢と老化; 無菌及び通常ラットの消化管及び肝臓の酵素活性の加齢による変化

。石井孝彦, 河合康雄, 務台方彦 (ヤクルト・中研)

F-3. 加齢に伴うBSP肝機能の変化; 顕微蛍光測光法による定量的解析

。中西和夫, 福田 優, 藤田哲也 (京府医大・病理)

F-4. 加齢に伴う軸索ディストロフィー; 軸索終末肥大の形態学

藤澤浩四郎 (都神経研・神経病理)

F-5. 老化モデルによるヒト血小板寿命曲線の解析

。矢後長純, 池田忠男 (聖マリアンナ医大・研究・放基),
市川隆男 (青山大・理工), 福田信男 (放医研・臨床),
渡辺勇四郎, 岡部和彦 (聖マリアンナ医大・内科)

F-6. 老化モデル動物系統樹立の試み

- 竹田俊男, 細川昌則, 竹下修史, 入野美香, 松下隆寿,
富田由美子, 安平公夫, 浜本 肇, 清水克時, 石井正治,
山室隆夫(京大・胸部研・病理・整形外科)

F-7. 加齢に伴う脳萎縮のコンピュータトモグラフィーによる研究(第2報)

- 伊藤正敏, 山浦玄嗣, 佐藤多智雄, 松澤大樹(東北大
・抗研・放医)

18:15~18:30 閉会の辞

太 田 邦 夫 (都 老 研)

大会会場と懇親会会場の御案内

いずれの会場も東武東上線大山駅（始発池袋駅から3つ目、急行、準急は停車しませんので御注意下さい）下車、または地下鉄都営6号線板橋区役所前駅下車。

